



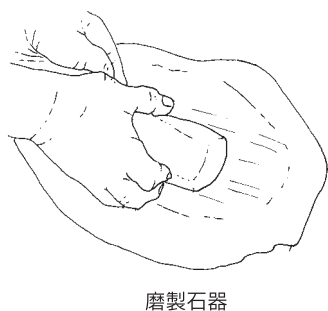
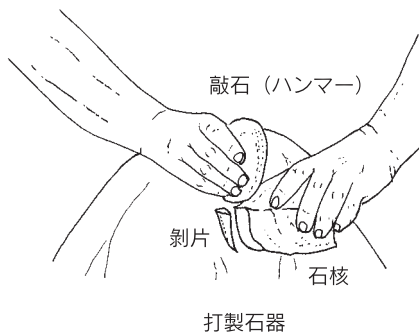
石の道具 — 石器の種類 —

Kyushu Historical Museum Exhibition guide

1 石器 — 石の道具 —

私たちの祖先につながる最初の人類が登場したのは、今から400万年以上前、アフリカの赤道地帯でした。彼らは、立ち上がって二本足で歩くことにより、両手を自由に使うことを可能にしたのです。そして約250万年前頃、人類は石を打ち欠いて石器を作り出しました。人類の手による、本格的な道具の登場です。その後、人類は進化を重ねながら、石の道具である石器を発明・改良していったのです。

石器には、直接河原石や礫を打ち欠いて刃をつけたものや、石核と呼ばれる石の塊から打ち剥した剥片を素材にして加工したのがあります。このように、主に石を打ち欠いて製作した石器を打製石器と呼んでいます。これに対して、石を打ち欠くだけでなく、磨いて仕上げた石器を磨製石器と呼んでいます。打製石器は石器が登場する旧石器時代から見られ、磨製石器は縄文時代になると本格的に普及しました。



石器を作る

2 石器の種類

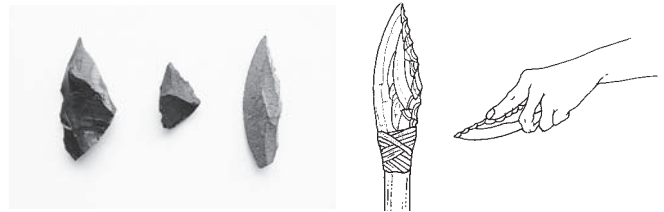
ここでは、石の道具が主に使用された、旧石器・縄文時代の石器について紹介します。

1) 旧石器時代

ナイフ形石器 打ち剥された剥片の縁辺を、ナイフの刃のように使用した石器。肉を切ったり、獲物を突き刺したりするために使用されたと考えられます。九州では、黒曜石やサヌカイトなどの石材が好んで使用されました。

尖頭器 (せんとうき) (剥片尖頭器・角錐状石器等) 先端部を鋭く尖るように加工した石器。主に獲物を突き刺すために柄の先につけて、石槍の穂先として使用されたと考えられています。

細石刃 (さいせきじん) カミソリ刃のような小さな石器。石槍の軸棒などに装着して、刃こぼれを起したら交換することができました。



ナイフ形石器 (左2点: 太宰府市・水城跡、右: 朝倉市・鎌塚遺跡)



角錐状石器(左)、槍先形尖頭器(中)、剥片尖頭器(右)
(左2点: 筑紫野市・宗原遺跡、右: 朝倉市・上ノ宿遺跡)



細石刃核と細石刃 (大刀洗町・春園遺跡)

2) 縄文時代

石鏃（せきぞく） 縄文時代に登場した、弓矢の矢柄^{やがら}の穂先に付けられた石器。魚のウロコのように、石材を丁寧に剥がして、三角形や抉りの入った形に仕上げられています。

磨製石斧（ませいせきふ） 樹木を伐採・加工するための石器。粗く打ち欠いて形を作り出した後は、時間をかけて丁寧に磨いて仕上げられています。

打製石斧（だせいせきふ） 板状の石材の縁辺を打ち欠いて加工した石器。先端部に直線状の擦れた痕跡^すが見られることから、土を掘るために使用されたと考えられています。

石匙（いしさじ） 剥片の縁辺を加工して刃をつけた石器。万能ナイフとして使用されました。携帯用に紐をかけるための抉りを入れており、匙状の形からこの名前がついています。

磨石・敲石（すりいし・たたきいし） 丸い形をした河原石などを磨りこんだり、一部を敲いたりした石器。石皿の上でドングリなどの堅果類^{けんかるい}を磨り潰す^{つぶ}などして使用しました。

スクレイパー 剥片の縁辺を加工して刃を付けた石器。旧石器時代から見られる加工具で、木を削るためや、動物の皮をなめすために使用されたと考えられます。

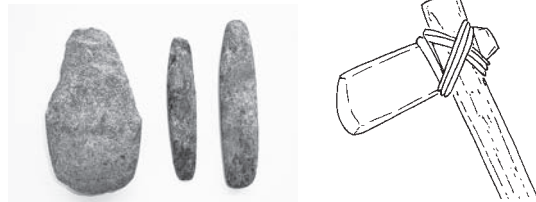
石錘（せきすい） 扁平で楕円状の河原石の両端を打ち欠いた石器。打ち欠き部分に紐を巻きつけて錘として使用しました。漁撈が本格的に始まる縄文時代以降に見られます。

もちろん、ここで紹介したもの以外にも、まだ幾つかの石器があります。その中には、祭りで使用された実用品でないものもあります。

その後、弥生時代に入ると稲作の伝来と共に、石斧やノミなどの工具、稲穂を摘むための石庖丁や磨製の剣など、大陸系磨製石器と呼ばれる新たな石器が登場します。さらに鉄や銅など、金属製の道具が登場することによって、石器は次第に第一の道具としての位置をゆずっていくことになります。それでも、自然の素材を使った石の道具・石器は形や用途を変えながら、今日の私たちの生活にも引き継がれているのです。
（学芸調査室 杉原敏之）



石鏃（春日市・深原遺跡）



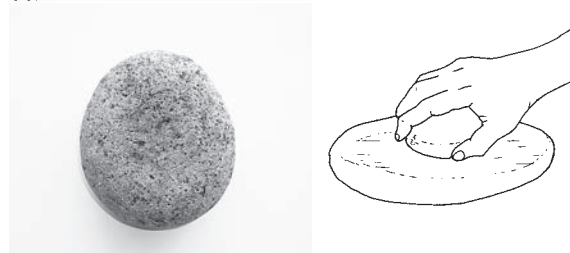
磨製石斧（豊前市・中村石丸遺跡）



打製石斧（豊前市・中村石丸遺跡）



石匙（春日市・深原遺跡）



磨石・敲石（豊前市・中村石丸遺跡）



スクレイパー（糸島市・広田遺跡）



石錘（豊前市・中村石丸遺跡）



編集

発行：平成23年3月31日

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>